

(エ) 小型コウモリ類

生態系の基盤環境の類型区分図と小型コウモリ類の生息好適地を重ね合わせたものを図-6.12.1.2(29)に示す。

生態系の基盤環境の変化の予測結果によると、小型コウモリ類がねぐらとして利用している5カ所の洞窟のうち3カ所の洞窟が消失し、採餌場所の一部としての二次林環境がある「段丘-樹林地(亜高木林)」の改変の程度は中程度である。小型コウモリ類に利用されている3カ所のねぐら(B、C、E洞窟)が失われ、採餌場所の一部としての二次林が失われ、主要な餌場までの移動経路の一部の二次林が分断されることになるものと予測される。

しかし、ねぐら及び出産、哺育の場として利用されている2カ所の重要な洞窟(A洞窟、D洞窟)は残存し、失われる3カ所の洞窟を利用する小型コウモリ類は、これらの残存する2洞窟を含む事業実施区域周辺の他の洞窟へ移動できるものと予測されている。

一方、主要な採餌場所としての「残丘-樹林地」、「砂丘-海岸林」の改変はほとんどないが、採餌場所の一部としての二次林が失われ、また、主要な採餌場への移動経路の一部の二次林が分断されることにより、特殊性を指標する小型コウモリ類の餌環境が変化することが予測される。